

授業科目名	外国語文献講読Ⅱ(英語) Reading Seminar of Foreign Legal Treatises Ⅱ
授業科目群	基礎法学・隣接科目
標準学年	2・3年次
必修・選択の区別	選択
開講学期	後期
開講曜日・時限	金曜日・2時限
単位数	2単位
担当教員名	田淵 浩二 (Tabuchi Koji)
授業の目的	法科大学院を經由して博士課程進学希望者を対象に、博士課程に入学するために必要とされるレベルの英語読解力を修得させることを目的とする。
履修条件	
到達目標	カリキュラムマップ、到達目標科目対応表及び学修ロードマップを参照のこと。
授業の概要	欧州における有効な刑事弁護を受ける権利の実現に関する比較法研究文献を講読する。英語のレベルを確認する必要があるので希望者は必ず事前に相談に来ること。 Planning to read materials on effective criminal defence in Europa.
授業計画	第1回 総論 第2回 ヨーロッパ人権条約 第3回 ヨーロッパ人権条約 第4回 ベルギー 第5回 イギリス 第6回 フィンランド 第7回 フランス 第8回 ドイツ 第9回 ハンガリー 第10回 イタリア 第11回 ポーランド 第12回 トルコ 第13回 比較分析 第14回 理論的分析 第15回 総括
授業の進め方	履修者に毎回30ページ程度の英語文献を要約紹介してもらい、解説を行う。
教科書及び参考図書等	Ed Cape, Zaza Namoradze, Roger Smith and Taru Spronken, Effective Criminal Defence in Europa, 2010
試験・成績評価等	期末試験は実施せず、毎回の授業における報告内容を、平常点として評価する。
事前学習	その都度、予習範囲の文献をコピーして配布する。
課題レポート等	
オフィスアワー	マンツーマン方式に近い授業となるので、授業中に質問すること。
その他	